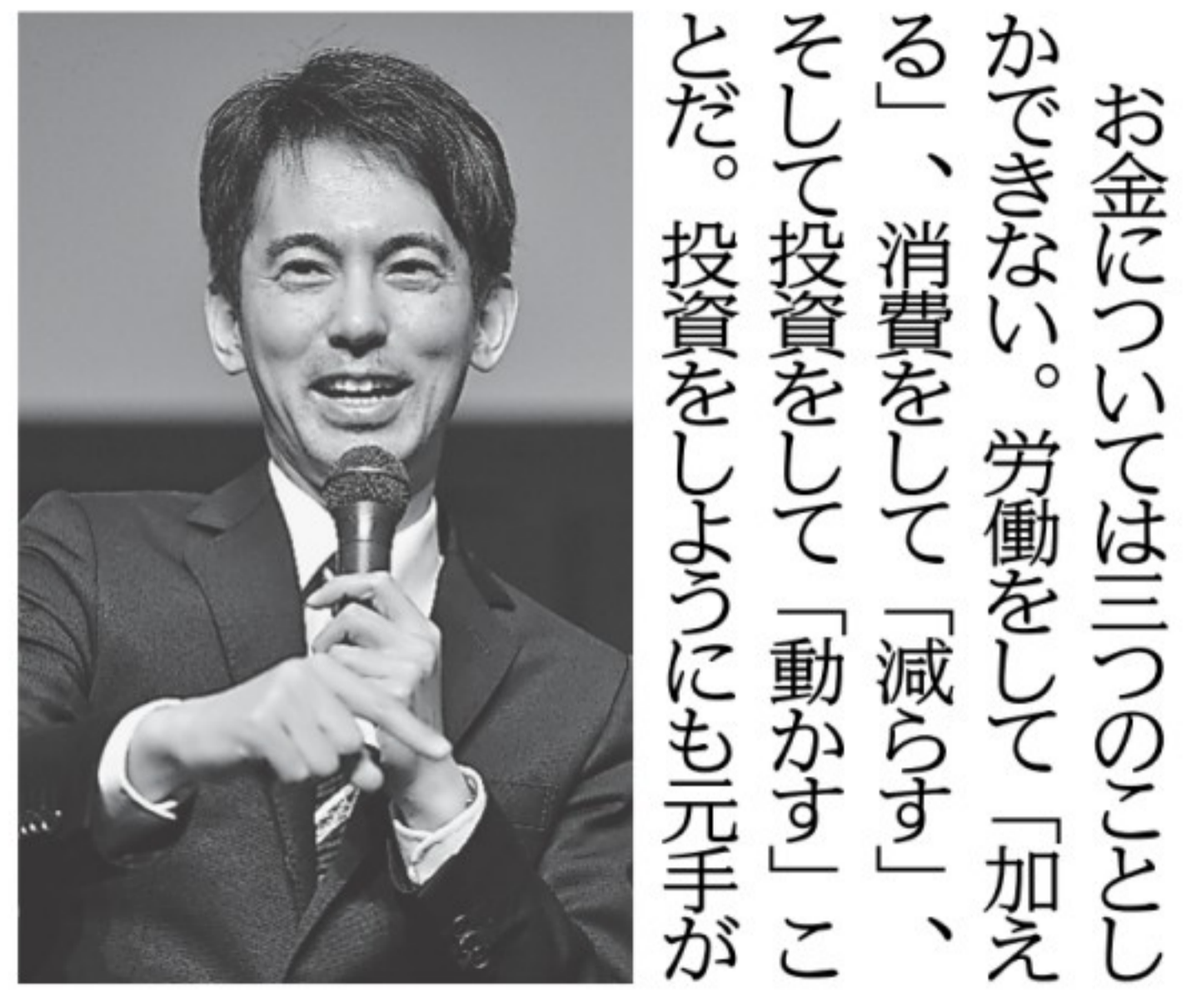


投信フォーラム2018 in 神戸 ~NISAとiDeCo 投資信託で豊かな人生を~



公認会計士・税理士・作家

山田氏が特別講演

「お金を貯めるには三つのポイントがある。労働をして「加える」、消費をして「減らす」、そして投資をして「動かす」といふことだ。投資をしようにも元手が

長期、積立、分散で損を避けて

無という人がいる。東京大学教授でありながら貯蓄と株式投資で財を成した本多静六は「貯蓄は金なくして投資なく、利殖なし」と言った。元手が無いなら、収入から貯蓄分を天引きし、残ったお金をやりくりする生活に変える必要がある。本多は実際に

会計士が教える貯蓄と投資のセンスアップ術

収入の4分の1を貯蓄に回し、元手をつくった。ある環境NPO法人から10万円投資すれば毎週5000円の配当金がもらえる」と持ち掛けられたらどうするか? 週5000円を年間に直すと2万6千円になる。週5000円だとわかっていくが年率26%はどう考えても怪しい。これは実際にあった詐欺事件だ。単位が変わると人

上がった株と、昔30万円を買ったが20万円に下がった株。このどちらを売ればよいか? 答えは後者だ。人間は失敗を認めたがらず、前者を売ってしまいがち。だが売却益には税金がかかる。損にはかからない。投資においては感情を排除し、勘定で考える思考法が大切だ。投資をためらう人は損を心配する。だが、人類はできる限り損をしない方法を考えてきた。結論は、長期、積立、分散だ。毎月3万円5千円を投資して年2

投資家から集めたお金をまとめて専門家が株式や債券などに投資・運用する投資信託。その残高は着実に増えているが、世界の状況と比べると伸びは著しく低い。資産形成のための仕組みや制度が未整備であることが要因の一つとされる。そこで国は近年、「NISA(少額投資非課税制度)」「iDeCo(個人型確定拠出年金)」「つみたてNISA」の制度を相次いで設け、個人投資家が投資を始めやすい環境を整えている。そのような中、NISAの日記念イベント「投信フォーラム2018 in 神戸~NISAとiDeCo 投資信託で豊かな人生を~」がこのほど神戸市内で開かれ、資産形成における投資信託の活用法や長期積立のメリットなどについて議論された。

投資信託 今が始め時



伊藤 勇治氏



吉本 隆信氏

投資には積極的に値上がり益などを狙う「趣味」の投資と、低金利の時代にある程度は資金にも働いてもらうという「仕事」としての運用がある。投資信託は後者に向いた商品だ。若い世代の人には「仕事」として長期的に運用する「つみたてNISA」がおすすめだ。

伊藤 投資の中にはリートを組み入れることでより広い分散投資ができる。神戸 新入社員の方から投資のアドバイスをとった。伊藤 積立投資は長ければ長いほど時間分散が効くから、若い頃から始めるのがよい。上下にぶれがあっても着実に投資していくことが重要だ。神戸 定額の積立投資で下がったときにはたくさん買えるこ

たてNISA」の制度を相次いで設け、個人投資家が投資を始めやすい環境を整えている。そのような中、NISAの日記念イベント「投信フォーラム2018 in 神戸~NISAとiDeCo 投資信託で豊かな人生を~」がこのほど神戸市内で開かれ、資産形成における投資信託の活用法や長期積立のメリットなどについて議論された。

お金を働かせ資産形成を 神戸氏 積立投資は若いうちから

伊藤 投資の中にはリートを組み入れることでより広い分散投資ができる。神戸 新入社員の方から投資のアドバイスをとった。伊藤 積立投資は長ければ長いほど時間分散が効くから、若い頃から始めるのがよい。上下にぶれがあっても着実に投資していくことが重要だ。神戸 定額の積立投資で下がったときにはたくさん買えるこ

□ パナリスト

山田 真哉氏 (公認会計士・税理士・作家)
伊藤 勇治氏 (野村アセットマネジメント投資信託営業本部執行役員)
吉本 隆信氏 (三菱商事・ユービーエス・リアルティ代表取締役副社長)

□ コーディネーター

神戸 孝氏 (F Pアソシエイツ&コンサルティング代表取締役)



神戸 孝氏



山田 真哉氏

東京五輪後見据えて運用 山田氏 「リート」の魅力

山田 下げ相場の時も長い目で見て、いつか戻ればよいと考えるとストレスが減る。当てる自信がある方は一気に買って、連続で当てるのは難しい。神戸 「NISA」と「つみたてNISA」のどちらを選べばよいか? 伊藤 投資したくない人はいない。つみたてNISAがよい。20年にわたって利益非課税を享受できるメリットは大きい。資金に余裕があれば、個別株や債券、リートなど投資商品を幅広く選べる。神戸 投資を楽しくして、お金の力を借りよう。山田 オリンピックの後はインフラ整備が進んだ東京がますます発展する。ただ東京は住みにくい。故郷の神戸に早く戻ってきて東京、世界を見ながらAI(人工知能)、IoT(モノのインターネット)、5G(第5世代移動通信システム) 銘柄に投資するのが理想だ。伊藤 資産形成で長期に投資できる方で、日本株に投資するならば小型株が有望だと感じている。吉本 私自身、リート、外国株、新興国株投資などを組み合わせてNISAで積み立てている。これまでもいろいろやってきた結果、これが一番だと感じている。神戸 これまでの投資は「趣味」の側面が強かったが、資産形成に欠かせないのは「仕事」としての運用だ。そのため「つみたてNISA」「iDeCo」がおすすめだ。これらを活用しながら投資信託で資産形成をしてほしい。

iDeCo(個人型確定拠出年金)とNISA・つみたてNISAの比較

	iDeCo	一般NISA	つみたてNISA
新規利用できる人	20歳以上60歳未満 なら原則誰でも	20歳以上なら誰でも	
税制	無期限で運用益非課税 (凍結中の特別法人税に注意)	5年間 運用益非課税	20年間 運用益非課税
運用時	全額所得控除	(所得控除の適用なし)	
払い出し時	元本も含めて原則課税 (退職所得控除または 公的年金等控除の対象)	(元本に課税されることはない)	
拠出	年間 属性により 14.4万円~81.6万円	120万円	40万円
限度額	累計 上限なし	600万円	800万円
払い出しの制限	原則60歳まで払出し不可	特になし	
非課税枠の管理	iDeCoへの「拠出額」で 管理されているため、口座内 でのスイッチングや分配金 再投資は自由	商品の「購入額」で管理されているため、 スイッチングや分配金再投資は再購入 扱いとなり非課税枠を消費	

法令などをとくに大和総研作成

上がった株と、昔30万円を買ったが20万円に下がった株。このどちらを売ればよいか? 答えは後者だ。人間は失敗を認めたがらず、前者を売ってしまいがち。だが売却益には税金がかかる。損にはかからない。投資においては感情を排除し、勘定で考える思考法が大切だ。投資をためらう人は損を心配する。だが、人類はできる限り損をしない方法を考えてきた。結論は、長期、積立、分散だ。毎月3万円5千円を投資して年2

今日からはじめる資産形成 投資信託で豊かな人生を

つみたてNISA、2018年スタート!

20年間も非課税 メリットが続くのをご存知ですか?

投資信託協会ホームページで もっと詳しく!

- ◆ 初心者にもわかりやすいコンテンツが充実。
- ◆ 著名人のインタビューや資産運用を学ぶコラムを収録しています。



スマホでも見られます

無料 ガイドブックプレゼント (各1冊セット)



ご希望の方は、投資信託協会ホームページからお申し込みください。ハガキの場合は郵便番号、住所、氏名をご記入の上、下記までご請求ください。(お届けまで2週間程度かかる場合があります。)

〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町2-1 東京証券取引所ビル6階 一般社団法人 投資信託協会KN係 ※いただいた個人情報は、本ガイドの送付のほか、当協会が開催する講演会やセミナーのご案内に使用することがあります。

